

## PRESS RELEASE



# 福岡レインボー映画祭2020

福岡市では、一人ひとりが互いに人権を尊重し、多様性を認め合う共生社会の実現を目指し、平成29年度に「性的マイノリティに関する支援方針」を策定し、当事者やその家族等に対する支援のほか、市民や団体、企業への啓発を行っています。

このたび、市民の皆様には性的マイノリティについて、理解や認識を深め、多様性について考えてもらうため、性的マイノリティに関する作品を上映します。

報道関係の皆様におかれましては広報にご協力いただきますようお願いいたします。

- 開催日 令和2年12月13日（日）
- 会場 福岡市市民福祉プラザ（ふくふくプラザ） 1階ふくふくホール  
福岡市中央区荒戸3丁目3番39号
- 上映作品 ①10：30～「ラフィキ ふたりの夢」（ケニア 2018 82分）  
②13：30～「ぼくが性別ゼロに戻るとき ～空と木の実の9年間～」  
(日本2020 84分)
- 定員 100名（申込先着順 / 各作品入替制）当日、定員に満たない場合は先着順で入場可
- 入場料 無料（事前申込みが必要です）
- 主催 福岡市
- 協力 NPO法人 Rainbow Soup
- 応募方法 ◆2作品ご希望の場合、作品ごとにお申込みください  
1) 福岡市のホームページ「福岡市 レインボー映画祭2020」で検索  
またはQRコードから申込み  
2) 往復はがき

上映作品・申込み方法等は別紙をご参照ください

### 【問い合わせ先】

市民局人権部人権推進課 前野・村上

TEL 092-711-4338（内線1891） FAX 092-733-5863

# FUKUOKA Rainbow Film Festival 2020

「性的マイノリティ(性的少数者)」ってどんな人？  
民間の調査によると11人に1人は性的マイノリティと言われている。周りにいないのではなく、気づいていないだけかもしれません。一緒に考えてみませんか？  
人にやさしくなれる一日「福岡レインボー映画祭 2020」

令和2年  
12月13日  
(SUN)



## ①『ラフィキ ふたりの夢』

監督 ワヌリ・カヒウ (ケニア 2018 82分)

10:00 受付 10:30 上映

同性愛が禁じられたケニアでの少女たち。閉塞的な状況の中で、ケナとジキの交流を、音楽やダンス、ファッション、アートなど現代のアフリカンカルチャーにのせて描いている。

カンヌ国際映画祭初の  
ケニア作品出品

## ②『ぼくが性別ゼロに戻るとき ~空と木の実の9年間~』

監督 常井美幸 (日本 2020 84分)

13:00 受付 13:30 上映

性同一性障害の若者を9年間取材したドキュメンタリー。女性として生まれ、自分の性の違和感に葛藤しながらも、自分の生き方を模索していく人たちと出会い、男性として生きていくことを決意。

福岡初上映

会場 福岡市市民福祉プラザ(ふくふくプラザ) ふくふくホール  
福岡市中央区荒戸3丁目3番39号

定員 100名(申込み先着順 / 各作品入替制)

当日、定員に満たない場合は入場可

入場料 無料(事前申込みが必要です)

主催 福岡市(協力 NPO 法人 Rainbow Soup)

問合せ 福岡市人権推進課 TEL092-711-4338 FAX092-733-5863

応募方法 1) 福岡市のホームページ「福岡市 レインボー映画祭 2020」で検索、またはQRコードからお申し込みください

2) 往復はがき

◆2作品ご希望の場合、作品ごとにお申し込みください

往復はがき【往信】

往復はがき【返信】

〒810-8620

福岡市  
人権推進課

宛

(住所不要)

(何も書かない)

〒0000-0000

あなたの  
郵便番号・住所・氏名

○見たい映画名(1本のみ)  
○希望人数(1名または2名)  
○希望者全員の  
住所・氏名(ふりがな)・  
電話番号  
○車いすで来場の場合はその旨

©2019MUSUBI Production

私らしく生きるために、  
僕は性を捨てた

お申込みはこちらから

